

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

地区	三谷地区	回数	第1回
日時	平成30年7月1日(日) 午後2時～午後4時30分		
会場	三谷公民館 大集会室	参加者数	31名

1. 計画検討やワークショップの進め方について

1) 公共施設マネジメント実施計画の考え方

生活が不便になればますます人口は減ると思うので、縮小ばかりを考えず、商業振興などの人口を増やすための施策に投資をすることも必要だ。

- ・ 生活が便利ではないと人口は減るので、人口を増やすために投資することも必要ではないか。
- ・ 人口は減る一方であるから、当然対策を考えるべきである。
- ・ 縮小一辺倒ではなく、例えば商業振興につながる事など、一定の公共投資をすべき面もあるのではないか。

本当に将来の維持更新費が足りなくなるのか。長寿命化の考え方や平均値の取り方など、シミュレーションの方法に疑問があるので説明を聞いても納得できない。データの根拠を示してほしい。

- ・ 本当にお金がないのか納得がいかないのか、公共施設を縮小する必要性を説明したデータの根拠を示してほしい。長寿命化された場合には将来の維持更新費は減るはずだが、その要件を入れないままシミュレーションしているのはいかがなものか。18.6億の根拠となっている平均値をH20～25年でとっているのはなぜかなど疑問がある。

個別の施設に耐震化をして投資を分散させるよりも、新しい施設に集中させた方が無駄がないと思う。将来的に子どもの数が更に減っていくなら、学校を整理することも含めて早期に配置計画を検討すべきだ。

- ・ 三谷地区は高齢者が多い。特に中区や松区は多いようだ。現状でも学校が多すぎると思うので、今後さらに子供が減っていくなら、早く手を打って学校を減らしていくべきだと思う。
- ・ 個別の施設で耐震補強が行われているが、もし今後複合化をしていくとしたら、その費用が無駄になってしまう。耐震化のために分散してお金を使うより、配置計画を検討し、新しく作る施設に投資した方が良い。

2) 地区個別計画策定に向けた検討の進め方

公共施設の再整備を考える前に、目指すべきまちの将来像を描く必要があるのではないか。

- ・ 公共施設の再整備を考える前に、今後どんなまちを目指すのかというまちの将来像を描く必要があるのではないか。

行政区と学校区が異なることが地域にとっての課題になっている。三谷中学校区だけでなく、地域の子も達の一部が通学している竹島小学校と蒲郡中学校、ひいては近接している東部小学校も含めて、施設の再編を考える必要があると思う。

- ・ 中学校区で検討をすることのだが、行政区と学校区が異なるという西区の問題を考えると、竹島小学校も対象に含めて検討した方が良いと思う。東部小学校も近いので、学校の統合などの検討の際には三谷、竹島、東部の3つを考える必要があるのではないか。
- ・ 三谷、三谷東、竹島の3つの小学校で考えれば、竹島小学校の生徒を三谷と三谷東に分けるという方法もできるのではないかな。
- ・ 三谷地区内の小学校2校（三谷小、三谷東小）と中学校1校（三谷中）以外に、地区外の竹島小学校、蒲郡中学校にも三谷の子も達が通学している実情がある。今後の検討においては地区外の2校も含めて検討する必要がある。

学校に他の施設を複合することが前提ではないとのことだが、地区内にある検討対象施設が学校、公民館、保育園などとなると、学校に集めることになるのかと思った。

- ・ 市の説明を聞いたり、塩津や西浦の最終案を見ると、学校に他の施設を統合するというのが大前提なのかと思ったがそうなのか。
- ・ 地区内にある対象施設が、学校、公民館、保育園となると、どうしても学校に寄せるという案になるのかなと思った。

地区個別計画では地区利用型施設だけについて検討するということだが、地区内の公共施設の配置バランスを考えると、全市利用型施設の配置も踏まえる必要があると思う。地区利用型と全市利用型の施設配置計画の整合をどのようにとるつもりなのか市の見解を聞きたい。

- ・ 地区個別計画では地区利用型施設だけについて検討するということだが、地区内の公共施設の配置バランスを考えると、全市利用型施設の配置も踏まえる必要があると思う。地区利用型と全市利用型の施設配置計画の整合をどのようにとるつもりなのか市の見解を聞きたい。

3) ワークショップの進め方

ワークショップの最終的な成果がイメージできないので、ワークショップの意見が市の最終案にどのように、どのくらい反映されるのかがわからない。

- ・ ワークショップの成果のイメージがわからない。
- ・ 市の最終案に対して、このワークショップでの意見がどのように、どのくらい反映されるのかがわからない。

ワークショップが話し合ったという事実だけを作る場にならないために、出された意見がどのように反映されたかやワークショップを通じて検討された計画の進捗状況などを、参加者にしっかりフィードバックしてほしい。

- ・ ワークショップの意見がどう反映されたのかわかるように、参加者へのフィードバックがほしい。
- ・ 住民皆の意見を吸い上げると言っているが、たとえ会議の中で決まっても、それが実行に移され、物事が進むとは限らない。以前にも、こうしましょうと決まったことが全く動かないということがあった。
- ・ 意見を言っても聞きおかれるだけで反映されないくらいの気持ちで参加した方が良いのではと考えている。以前に参加したごみ問題の話し合いでは参加者からいろいろな意見が出たが、結局それがどうなったのかというフィードバックがなかった。どこかで公表されたりしているのかもしれないが良くわからない。
- ・ 塩津や西浦で最終案となっているものは、本当にワークショップ参加者の意見をまとめ、反映したものなのか。
- ・ こういう機会でもないと公共施設について考えることはないので良い機会だと思う。ただ、話し合ったという事実だけが欲しいというのでは困る。

ワークショップの中で意見が分かれた場合には、熟議によって共通の方向性を探ることも必要だと思う。そうしないと単に意見を聞く場になってしまうのではないか。

- ・ ひとつのテーマについて参加者間で矛盾する意見がある場合、その場で否定することのないように進めるのは良いが、矛盾をしっかりと解きほぐす熟議も大切である。意見を聞いただけでおわりにしないほしい。

公募の参加者がもっと増えると良い。会の目的がわかりやすい名称に変えるなどの工夫をして関心を高め、参加を促すようにしてはどうか。

- ・ 参加者のうち、依頼をされて参加している人が大半を占めている状況は余り好ましくない。話し合いのテーマを明確にして呼びかけることで、関心のある方の積極的な参加を促してはどうか。その際、「ワークショップ」という名称で参加を呼びかけても何をする会なのかがわかりづらいので、「三谷の将来を話し合う会」など、目的がわかりやすい名称で呼びかけをして、参加を促すようにしてはどうか。

計画案を机上の空論にしないためには、施設の管理者や保育園の保護者などの利用者の意見を聞くことも大切だ。ワークショップに参加してもらえなくても、アンケートや現場調査などを行えると良い。

- ・ 保育園を実際に利用している子育て世代が保育園についてどのように考えているか意見が聞きたい。ワークショップへの参加が難しければ、アンケートなどでも構わないので意見が聞けると良い。
- ・ 机上の空論にしないためには現場の調査が必要だ。再整備するために複合化を考えているようだが、実務的に言えば管理主体の違う施設を複合することができるものなのか。

地区ごとの課題や各世代が感じている意見を出し合って、まとめていく検討プロセスに特に異論はない。住民に広く計画を知らせるために、ワークショップだけでなく地区のイベントを活用することも考えてはどうか。

- ・ 計画策定のプロセスについては特に異論はない。地域や世代毎の課題や意見を出し合い、いろんな意見をつなげて進め、まとめるということで良いのではないか。
- ・ 三谷地区では今年の11月頃に防災やスポーツに関連したイベントを開催することが決まっているので、そういった場も活用して計画を地区住民に広く知らせると良い。

複合化のメリットとデメリットや地区別の将来人口などのデータを示してもらい、施設の組合せや小学校の統合を検討する際の判断材料にしたい。

- ・ メリットとデメリットが分かるようにしてほしい。事例では良いことしか書かれていないので課題も知りたい。
- ・ 小学校の統合などの判断材料として参考にしたいので、三谷地区内の地区別の将来人口予測などがあればデータを提供してほしい。

2. 地区のまちづくりや公共施設について

1) 地区のまちづくりの方向性

子どもから高齢者までが住みやすいまちを目指して、多世代の交流が図られ、子育てしやすい環境づくりや教育の質の向上につながる計画を作してほしい。

- ・ 子ども達から高齢者まで住みやすい街にしたい。
- ・ 子ども達から高齢者まで多世代の交流が図られるような計画を作してほしい。
- ・ 子育てしやすい環境づくりが大事である。それを考えると、再配置の検討には子育て環境や教育の質の向上につながる視点が必要になると思う。

西区では一部竹島小学校に通っている子ども達がいるので、地区住民としての意識が低下し、地区の一体感に欠けてきているように思う。行政区と学校区が異なるのは、所属するコミュニティがちぐはぐになるということでもあり、子どものためにも良くない。学校区の変更や選択性の導入を検討できるとよい。

- ・ 行政区と学校区が異なるのは問題だ。西区では一部竹島小学校に通っている子ども達がいるので、地区住民としての意識が低下し一体感に欠けてきているように思う。西区の子ども達は西区の学校に通ってもらいたい。
- ・ 行政区と学校区の違いを解消するために、どの小学校に通うかを選択できるようにできると良い。
- ・ 竹島小学校に通う子どもたちのことが気になっている。西区に住んでいるが子ども会は竹島小学校に所属しているなど、所属しているコミュニティがチグハグになっていると、地区ごとの活動で子どもが孤立してしまうのではないか。公共施設の方針と合わせて、行政区や小学校区の見直しも検討できると良い。
- ・ 地区のつながりを強める上で、地区が3小学校区（三谷小、三谷東小、竹島小）に分かれていることが気にかかる。分担されることで地区の一体感が損なわれている。
- ・ 地区の一体感が欠けてしまうので、一部竹島小学校に通っている西区の子ども達に三谷小学校に通ってもらいたい。

若い世代の感覚としては、現状の行政区と学校区の違いをそこまで問題視していない。竹島小学校に通っていても三谷祭りには協力してくれているので、それだけでもありがたいと思っている。

- ・ 若い世代の感覚としては、竹島小学校に通っていても三谷祭りには協力してくれているので、それだけでもありがたいと思っている。現状の区域界をそこまで問題視していない。

三谷祭の伝統や風習を背景にした三谷のコミュニティを今後も守っていききたい。閉鎖的とも言われるが、一旦馴染めば良好な関係性が築ける土地柄なので、地域コミュニティの形成や主体的な活動が促されるような計画づくりができると良い。

- ・ 今回の公共施設の見直しと併せ、地域住民のコミュニティの形成や主体的な活動が促されるような計画づくりが望ましい。
- ・ 三谷地区は、三谷祭による伝統や風習から他地区と比べて独特の気質があり、外部から三谷に来る人に対して閉鎖的と言われるが、一旦受け入れてもらえると良好な関係を築くことができるところが良い。
- ・ 今後もお祭りを中心としてコミュニティを形成していきたいが、地区の役員のなり手もおらず担い手不足である。

区によって人口や世帯数などの状況が違うので、それぞれの区の実情に沿った計画を作ってほしい。

- ・ 各区によって人口や世帯数など、区の状況が違う。区の実情に沿った計画を作ってほしい。

2) 公共施設の現状や今後について気になること

■公共施設全般

施設を複合化して1つの施設が様々な目的を持つことで、利用者が多様化し、利用率のアップや多世代の交流の創出などのメリットが生まれると思う。ただ同時に、子どもと高齢者が一緒にいることは難しいのではないかと思う。

- ・ 1つの施設が1つの目的しか持たないというのでは利用率が上がらない。利用率をアップさせるには、施設を複合化して様々な目的で使えるようにするのが良いと思う。
- ・ 複合化することで小さい子と高齢者が共に良い影響を与えあう機会が生まれるのではないか。複合化する機能によっては、メリットがあると思う。
- ・ 日常的に子ども高齢者が一緒に居ることはなかなか難しいのではないか。

学校の空き教室やまちなかの空き家などを有効利用することを考えてはどうか。空き教室を利用する際には、十分な機能を果たせるだけのスペースが確保できるかを検討した上で、学校に多くの人が入り出すことによる危険性などのデメリットにも配慮する必要がある。

- ・ 学校には空き教室がたくさんあるのではないか。まちなかには空き家も目立つが放置するのは治安に良くない。そういうスペースを活用することを考えてはどうか。
- ・ 学校の空き教室を活用したり、学校に他の機能を複合すると、いろいろな人が入り出すことになるので、安全性が確保できるか心配だ。
- ・ 学校の空きスペースをうまく活用することが重要であることは理解したが、単純にスペースがあるからそこに統合しようということではなく、統合する公共施設（保育園や公民館）の機能が十分に確保されるのかどうか重要だ。
- ・ 中学校は生徒の人数のわりに面積が広いと感じていた。

学校を始めとして老朽化している施設が多く、対策が必要だと思う。三谷地区は海に近いので、津波や強風などの災害による被害も心配だ。

- ・ 三谷地区は海に近く、風水害などの災害に弱い。指定された避難場所も被災の可能性が大きい。
- ・ 三谷西保育園、三谷小学校なども津波等の災害が心配である。
- ・ 学校施設を始めとした施設の老朽化とその対策が懸念される。

より多世代が利用しやすくなり利用率を向上させるためには、ハード面だけではなく、利用ルールの緩和や予約方法の簡素化などのソフト面の整備も必要だ。

- ・ 将来的に公共施設が統合される場合には、より多世代が利用しやすくするために、わかりやすい予約の方法など運営面に関するソフトの整備もハード整備と合わせて検討できると良い。
- ・ 運営のルールの緩和など、ソフト面で使いやすい公共施設にしていくことも考えてい。
- ・ ハード面の対策だけではなく、利用率を上げて公共施設を十分に使いこなすことが大切ではないだろうか。

公民館などの公共施設をほとんど使っていない若い世代などは、利用方法やどんな活動ができるかなどがわからない状況ではないか。

- ・ 公共施設をほとんど使っていないので、使い方もわからない状況だ。
- ・ 若い世代は特に、公民館などの公共施設をほとんど使っていない。そもそも使い方や何ができるのかなどもわからない状況だ。

放課後の子ども達の居場所、デイサービス以外の比較的元気な高齢者のための施設、学習スペースのある図書館などが地区にあると良い。

- ・ デイサービスはあるが、歩くことはできて比較的元気な高齢者が集う場所がない。三谷の人にはプライドがある人も多いようで、デイサービスというところまで年は取っていないから行きたくないという人もいる。高齢者の学校のようなものがあると良い。学校の空き教室を使うのも1つの方法だと思う。空き教室を有効活用できるし、生徒との交流の機会も生まれる。
- ・ 子どもの学校後の遊び場を確保するという視点で公共施設の活用を考えるのは良いと思う。例えば三谷公民館や学校の運動場、公園などが考えられる。ただ、公園は現状ではあまり子どもが寄り付かないようだ。
- ・ 図書館機能が欲しい。特に勉強できるスペースが必要だ。

三谷駅や公共施設の駐車場が少なく、路上駐車の問題も発生している。

- ・ 公共施設に駐車場が少ない。路駐問題もある。

- ・ 三谷駅の駐車場が少ない。

■小学校・中学校

小学校も中学校も老朽化しているので、子ども達の安全が確保できるかという不安がある。避難所でもあるので、施設を新しくするならば学校だと思ふ。安全な避難所があることは人口の流入にもつながるのではないか。

- ・ 中学校は、地震などの際に地域の人が避難する場でもあるので、それを考えると耐震性に心配がある。二次被害が起きるかもしれない。そういった不安がある地域には、引っ越すことを躊躇するのではないかと思ふので、災害時に安全なことは人口の流入にもつながるのではないか。
- ・ 三谷小学校は一時避難所になっているが、老朽化しているので耐震性が心配だ。
- ・ 三谷小学校は古いので耐震性が心配だ。子ども達の安全性を確保するというのは最重要ではないか。施設を新しくするならば学校だと思ふ。

小学校の生徒数が減っていることを考えると、三谷小学校か三谷東小学校かのどちらかに統合するのがこの地区の個別計画のポイントになると考えている。各校の伝統や災害時の安全性などの様々な観点から、統合の方向性を検討できると良い。

- ・ 小学校の生徒数が減っていることから、三谷地区の個別計画の大きなポイントは三谷小学校か三谷東小学校かのどちらか一つに統合されるということだと理解している。
- ・ 伝統のある三谷小学校が残って欲しいという思いもあるが、高潮や津波などの影響を考慮すると三谷東小学校が残る可能性も十分に考えられる。伝統や安全性など、様々な観点から小学校統合の方針を検討できると良い。

学校を小さな子ども達から高齢者まで多世代が交流できるような施設にできると良い。

- ・ 学校施設については小さな子ども達から高齢者まで多世代が交流できるような施設にしてはどうか。

三谷東小学校の児童クラブは三谷東小学校にあるが、三谷小学校の児童クラブは児童館を使っている。子どもの放課後の居場所として、小学校をもっと活用してほしい。

- ・ 三谷東小学校は児童クラブが学校にあるが、三谷小学校は児童館を使っている。子どもの学校後の居場所として、放課後の小学校をもっと活用してほしい。

■保育園

三谷西保育園と三谷東保育園をひとつにまとめて、災害の危険性のないところに新築できると良いと思ふので、保育園の統廃合を進めてほしい。

- ・ 将来的に保育園の統廃合を進めてほしい。三谷西保育園と三谷東保育園をひとつにまとめて災害の危険性のないところに新築できると良い。

市内のバスや保育園バスなどを活用することで、保育園の送迎の負担を軽減できないか。

- ・ 保育園児の個別送り迎えの負担を軽減するため、市内のバス（名鉄バス）や保育園バスなどで対応できないか。

■公民館

せっかく良い施設があるのだから、営利目的にも使えるように規制を緩めたり利用を促すソフトを展開することで、公民館を祭りや日中の年配層利用以外にも使われる場になることができると良い。

- ・ 公民館は祭りの時や日中に年配層が使う以外にも、使い道はいろいろあるはずだ。もっと活用を促すためのソフトの提案があって良い。
- ・ 公民館では商売につながる活動は行えないのか。営利目的では使えないということだと利用の幅が狭まってしまう。せっかく良い施設があっても使えないのはもったいないので、規制を緩めることも考えてはどうか。
- ・ 今のままのルールに則った公民館なら、学校の空き教室の活用などで代用することができるので、公民館が果たして必要なのかとってしまう。

公民館は祭りの際に重要な施設で、立地的にも使いやすい。無料で使える場を必要としている現状の利用者にとっても欠かせない施設だ。ただし、高潮の影響などの心配がある。

- ・ 無料で使える場を必要としている人は確実にいるので、公民館は無くせないだろう。
- ・ 三谷公民館は三谷祭りの際に着替えや荷物置きなどに利用できるため、今の立地のままが利用しやすい。ただし、今の立地では高潮などの影響が心配でもある。
- ・ 公民館があまり利用されていないのではないかという意見もあるが、祭りで十分に使っている。

■児童館

児童館の建物はまだ新しいので、1階のデイサービス部分が空くのであれば、図書館などの機能を入れて有効活用できると良い。

- ・ まだ新しい建物なので、1階のデイサービスの場所が空くのならば何か他の機能を入れて有効活用できると良い。
- ・ デイサービスが出た1階を図書館などとして活用したら良いのではないか。

3. その他

地区の集会所が老朽化しているので、安全性確保のためには耐震化する必要があるが、状況は地区によってまちまちだ。公共施設の複合化や集約化を検討する際は、集会所の建替え状況も踏まえる必要があるのではないかと。

- ・ 松葉会館など地区の集会所が老朽化しているので、安全性の確保のためには耐震化する必要がある。既に耐震化している所もあるが、まだ進んでいない所もある。
- ・ 高齢者が多い地区などは集会所の改修費用を集めるのが難しいという問題がある。災害が起こって何か被害があった場合には、責任を負うのは地域住民の中の責任者になるので心配だ。
- ・ 区会館（西区、上区、東区）の随時建替えが実施されている。公共施設の複合化や集約化を検討する際は、地区の集会所の建替え状況も踏まえる必要があるのではないかと。

消防団倉庫は今回の議論の対象ではないが、建て替えが必要な時期を迎えているので、他の機能を複合することなども考えながら検討してほしい。

- ・ 消防団倉庫は市の施設だが地図に入っていないのはなぜか。今回の議論の対象ではなくても、そろそろ建て替えの必要な時期だと思うので、他の機能を複合することなども考えながら検討してほしい。

バスの利便性、不審者による治安の悪化など、地区には公共施設以外の課題もある。

- ・ 三谷地区における名鉄バスは、一日あたり4本程度しかなく利便性に欠ける。
- ・ 時折不審者情報が携帯で届く。治安面で心配なこともある。

ワークショップの資料を送付する際には、一目でそれとわかるような封筒にするなど、他の郵便物と間違えないように配慮してほしい。

- ・ ワークショップの資料送付は、封筒を一見して何の資料かがわかりづらいため、広告の入っていないシンプルなタイプの市の封筒で郵送して欲しい。また、表面にワークショップ資料であることを明記すると良い。